

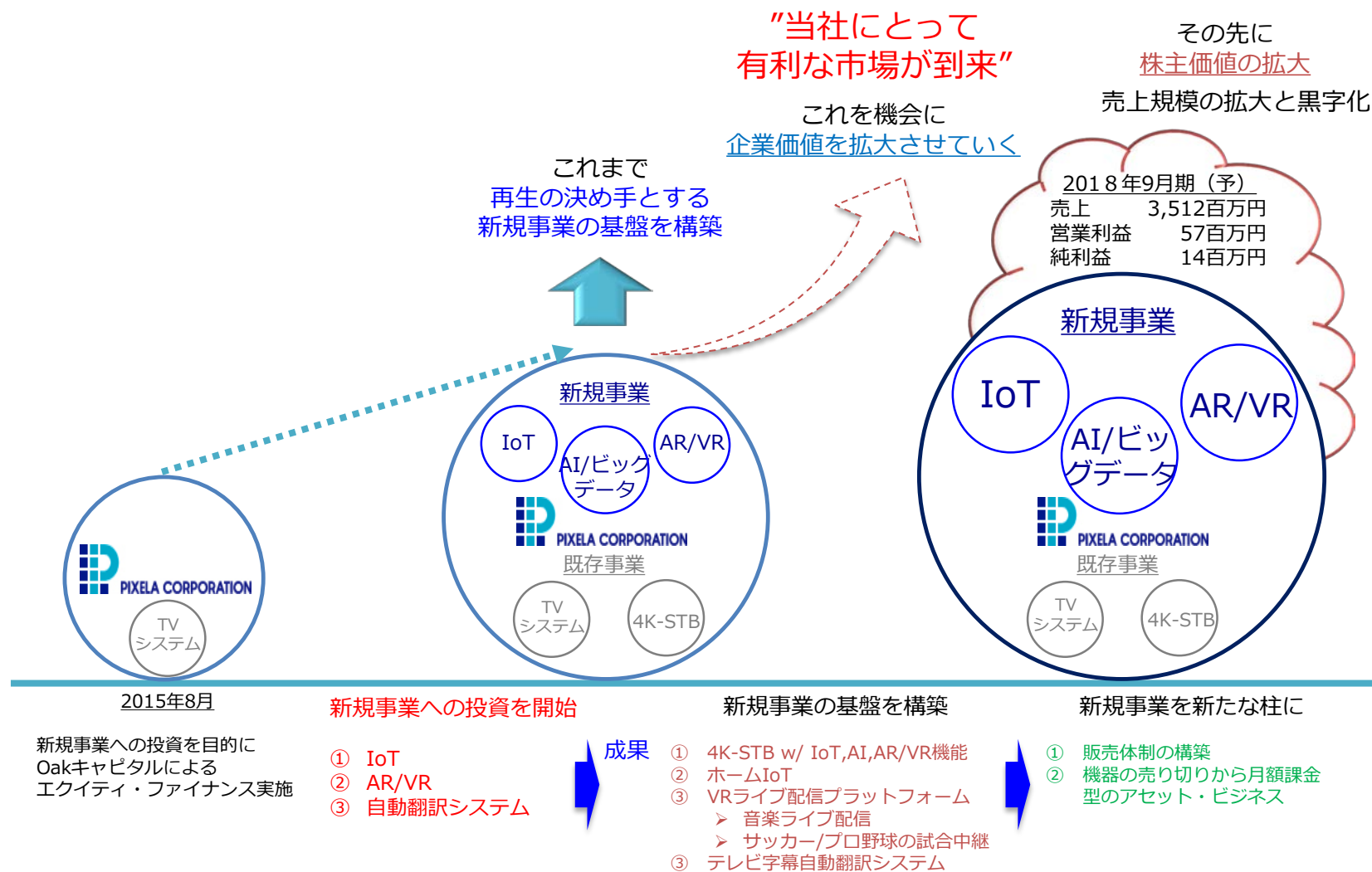


成長戦略

株式会社ピクセラ
(東証2部：6731)

2018年2月16日

ピクセラの戦略の歩み



当社にとって有利な市場が到来

- 2018年12月から国内において4K放送が開始される
- 当該放送開始時には、国内には4K映像は映し出せるが4K放送を受信できない9百万台もの4Kテレビが存在すると想定されている
- 当社はこれらの4Kテレビが4K放送受信を可能にするSTBを提供できる
- 国内で4K放送受信機能付きSTBを供給できるのは現時点で世界で当社のみ

当社の差別化戦略

- これからのテレビのOS規格はAndroidである
 - ✓ 当社はAndroid TV搭載のSTBの製品化を完了
- 当社はこれまで、新規事業としてIoT、AI（人工知能）、AR/VRの開発に取り組んできた
 - ✓ 自社開発したこれらIoT機能、AI機能、AR/VR機能を様々な組み合わせでSTBに搭載することで、お茶の間で楽しむテレビを携帯端末やPCの様な使い勝手でテレビ画面上で実現できる
- テレビ機能をアップグレードするには、STBに新たな機能をダウンロードするだけで実現できる ～ STBの持つ拡張可能性は他社には真似できない

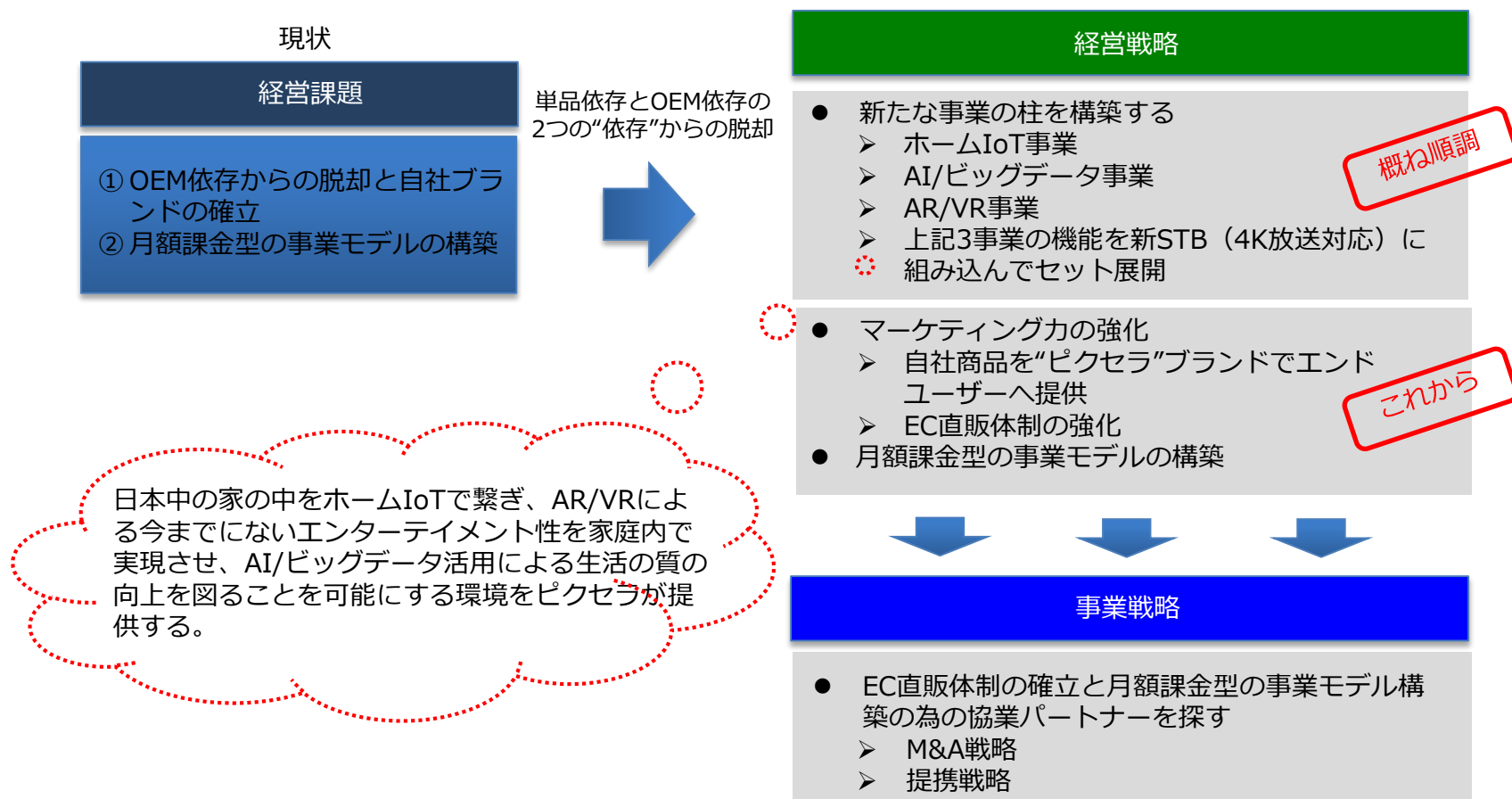
当社の経営戦略

- 当社に有利な機会を捉えて、**売れる商材を一気呵成に拡大販売**していく
 - ① 4K放送受信機付きSTB
 - ② IoT機能、AI（人工知能）機能、AR/VR機能を搭載
 - ③ これら機能を搭載した4Kテレビ
 - ④ スマートホームハブ（屋内の家電をネットワーク化し屋外とも繋げる）
 - ⑤ 簡易IoTホームセキュリティ（秀逸な価格優位性）
 - ⑥ 大手家電メーカーへの4K放送受信機のモジュール販売

- 売れる商材を**自社ブランド**にてエンドユーザーへ**直販**
 - ✓ 売れる商材を一気呵成に販売していくには、当社にない直販体制を確立する必要があり、EC通販プラットフォームの買収により取り込むことで実現する

これからの経営戦略と事業戦略

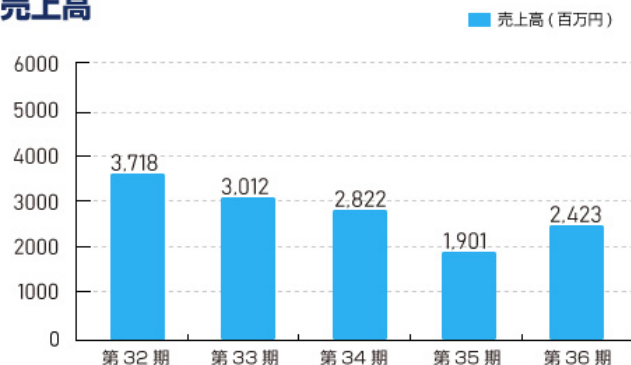
新たな事業の柱の構築は順調に進捗している



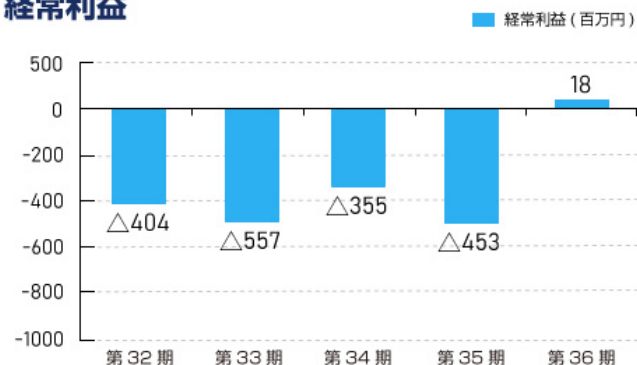
今後は、EC直販体制の確立と安定した事業収益モデルを構築していく

業績推移 2017年度に黒字転換

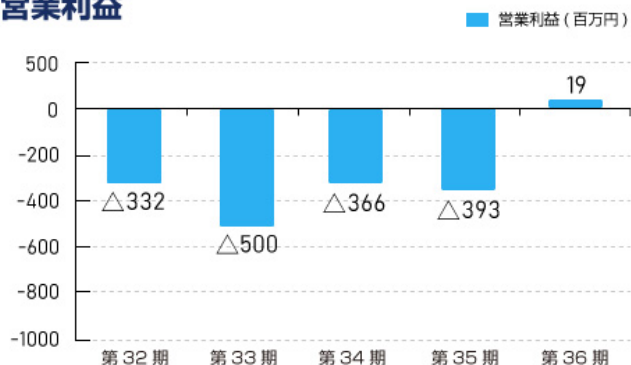
売上高



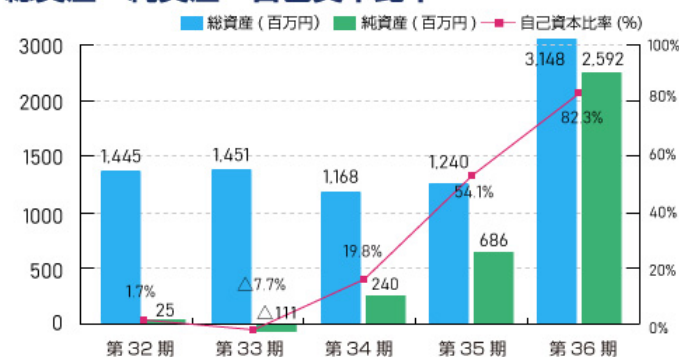
経常利益



営業利益



総資産・純資産・自己資本比率



事業環境の変化

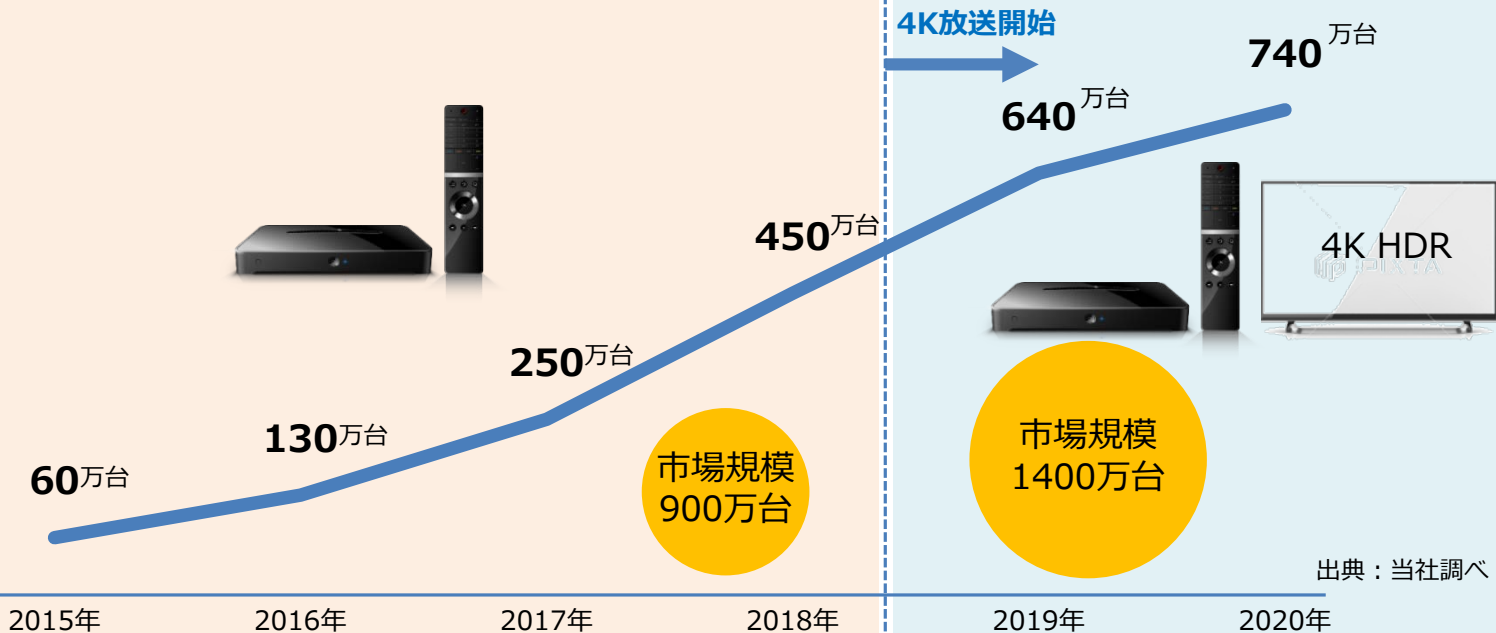
4K放送に対応したビジネス機会の拡大

2018年より開始される4K実用放送や2020年の東京オリンピックに向け、4Kテレビ及び4K放送対応のSTBの需要拡大が見込まれる

国内4K（対応）テレビ市場規模と当社プロダクト

- 「高度BS 4K放送を受信できないテレビ」累計900万台に対し、当社は2018年夏、廉価版（2万円以下）STBを発売

- 4K放送開始後、当社はSTBと4Kモニターをセットにした「4Kテレビ」を販売



新規事業の成果

家族やペットの見守りから、一人暮らしのセキュリティまで スマートホームをかんたんに

Conteホームサービスは、どこからでもスマホで家の中を見守る仕組みを自分でつくれる月額サービスです。



開閉センサーは窓・ドアの開閉状態を検知します。玄関や室内のドアに設置することで、人の出入りがあるか確認したり、セキュリティボックスのドアに設置して、知らない間に開閉していないかを確認できます。



マルチセンサーは、設置した室内の温度、湿度、明度、UV、振動、人感を、スマホで確認することができます。部屋に人の出入りがあるかどうか、照明を消し忘れているか、室内が乾燥しすぎていないかどうかなど、室内の状態を確認できます。



マルチセンサー



開閉センサー



リモコンニット



スマートロック



ネットワークカメラ



クラウドサーバー



スマートフォン
(Conte™ホーム)



「夜になったら照明がつく」というような設定にしたり、他のセンサーと組み合わせて、「玄関の鍵が開いたら自動でエアコンがつく」など、スマートに普段の生活をサポートします。



住まいの様子をライブで確認したり、他のセンサーと組み合わせて「人感センサーが反応したら撮影する」「ペットがおもちゃ箱の前に来たら撮影する」など、さまざまな使い方ができます。



閉め忘れ防止や、友達が来た時に遠隔で鍵を開けたり、他のセンサーと組み合わせて「玄関の鍵が開いたら自動でエアコンがつく」などライフスタイルにあわせた使い方ができます。

新規事業領域

スマートホームハブ事業戦略

4K放送対応の新STBにAI、AR/VR、IoT機能を搭載し、屋内利用に加え、屋外でもスマートフォン等を通じて利用できるスマートホームのプラットフォームを提供



販売戦略

- 当社の高度BS 4K技術を軸とし、以下のターゲット市場へ展開
 - コンシューマ市場
 - ホテル・旅館・民泊市場
 - サイネージ市場
 - CATV市場
- 量販店、自社ECサイト、Amazonを通じ、自社ブランド商品として販売
- 通信会社、ケーブル局向けにカスタマイズ対応

2020年までのロードマップ

